



「PCR検査を受けた5名中5名が『コロナ陽性』の判定です」。5月17日午後6時、冒頭の一報から3週間余りに及ぶ戦いが始まりました。翌18日から19日にかけて全利用者・全職員を対象とした行政検査が実施され、結果23名の陽性判定。その後も連日のように陽性者が続出し、結果的に利用者39名、職員19名、計58名の集団感染（クラスター）の事態となりました。

利用者さんはもちろん、職員の奮闘、ご家族や関係者様のご理解とご協力、保健所、行政、医療機関、近隣施設等からのご助力・ご支援の甲斐あり、おかげさまで6月12日を以て無事に収束を迎えることができました。特に保健所や、派遣の感染症認定看護師の皆様には、発生初期より感染拡大防止のため、親身になって伴走して下さいました。また、県内協会施設の理事長・施設長の皆様からも物資の提供や激励のメッセージをいただき、本当に心強く救われる思いでした。

昨年度、新型感染症発生時における事業継続計画を策定し、可能な限りでの備えや想定を行っていたつもりでした。しかし、いざ現実となると、机上の空論で通用しない事項も多く、対応・対策が遅れてしまうものもありました。未だコロナ感染拡大の脅威がある中で、感染症対策については、サービスの質との均衡を図りながら引き続き行ってまいります。今回の経験を教訓とし、単に「記憶」だけでとどめるのではなく、客観的な「記録」として、計画書の見直しと改善を行っていききたいと思います。

課長 松浦 徳彦

まずはコロナ収束に向けてご家族や関係者様のご理解とご協力、保健所、医療施設等のご支援、物資等をご提供して下さった法人様や会社様へこの場をお借りし厚く御礼申し上げます。

思い返せば、以前からコロナ発生時のシミュレーションをし、計画書を作成していましたが今回、想定していたよりも甘かったことを痛感させられました。

当時は5名の陽性者が判明してすぐに主要なスタッフを招集し、緊急会議を行いました。初動に関しては当初の計画に沿って役割ごとに役割分担していた為、関係機関への連絡や利用者家族への連絡、初期のゾーニング、シフト調整など確認する作業となりました。初期の段階としてはそれほど混乱も生じませんでした。次の日の朝、更に発熱者が増え、そこから約3週間に及ぶ見えないウイルスとの闘いが始まりました。

当初計画していたゾーニングも保健所と調整する中で変更となり、当然人員配置も変わる為、現場は現場で利用者さんの健康状態のチェックや新たな発熱

者の対応に追われ後手後手となり、指示的中枢の役割をもつ私たちも未曾有の事態に的確な指示が出来ず、場当たりの対応となっていました。

また物資も備蓄していたものの思った以上に様々な物が不足し、急遽追加注文をしたり、買い出しに行ったりと当初の算段が甘かったなと感じました。

コロナ発生から3日目を過ぎた頃よりゾーニングや人員配置、日課、勤務形態等明確化し、少しずつ混乱状態から落ち着きを取り戻し始めました。感染者は日に日に増え続けておりましたが、役割や業務フローが出来つつあった為、部署や職種ごとに協力し、まさに職員全員で一丸となり奮闘した3週間でした。

今回、クラスターが発生し関係者の皆様には多大なご心配をお掛けし、改めて感染症対策の難しさで大変さを痛感いたしました。この経験を今後活かしていく為にも職員全員が感染症に対する意識を高め知識を得ること、もし、また有事が起こった際に迅速な対応が出来るように再度計画の見直しを実施してまいります。

看護師 原田 公子

5月16日利用者の方の急な発熱。受診後も解熱せず、他にも発熱者が増え、翌日再度かかりつけ医に相談。PCR検査を受けた方が良いと話されますが、その病院では検査が出来ず、他の医療機関を探す事に。しかし、何処の病院も抗原検査のみでPCR検査は対応していないとの事。保健所に連絡する様に助言があり保健所に連絡しました。その間常備していた抗原検査を行い、1名偽陽性・他4名は陰性の結果。保健所からは、陽性ではない為病院を紹介する事はできないと話されましたが、検査可能な病院を教えて下さり、漸く受診する事に。病院に行くのと唾液での検査との事。唾液での検査が難しい事を伝え、先生から保健所に連絡して頂き、鼻咽頭での検査を受ける事になりました。結果全員陽性。陽性者は別室で過ごして貰い、翌日保健所から来寮され今後の対応など協議し、利用者・職員全員濃厚接触者と判断され2日に渡り検査を受けました。

結果クラスター発生。5月17日からゾーニング（陽性者と陰性者の生活スペースを分ける事）を医療機関の感染症認定看護師の協力を得て行いましたが、日に日に感染者が増加。数日は日々ゾーニングを見直しました。保健所の指示のもとトリアージ受診（診療の優先順位をつけ緊急度の高い方から受診する事）も行いました。数日後、PCR検査で陰性だった方が発熱。陰性の為施設で受診先を探す事に。しかし、なかなか見つからず、保健所に相談。診察して下さる病院を探してもらい、往診して下さる事に。そんな中救急搬送が必要な方も。病院に連絡されますが、搬送先を探すのに1時間以上かかる事も。療養期間終了後も微熱が続く、再受診が必要な方も数名。その時も保健所の方が受診先を手配して下さり、陰性を確認され、結果6月12日収束となりました。

ご心配をおかけしているにも関わらず、連絡すると労いの言葉をかけて頂き、私達の心の支えとなり、乗り越える事ができました。現在も変異株が確認されるなど、まだまだ予断を許さない状況が続いておりますが、今回の事を無駄にしないよう感染対策を引き続き行って行きたいと思っております。

本年度で南海寮は創立から 47 年目を迎え、5 月 10 日に創立記念食事を開催しました。



カメラを向けると素敵な笑顔でハイポーズ♥



日々のお手伝いを誇る  
奨励賞授与。  
中身はなんだろう…  
(≥▽≤)



ご馳走だ!!!  
やったあ~★  
美味かぞお♪

皆さん、おいしいごちそうを沢山食べて大満足(\*^▽^\*)。

# 日常が戻ってきました！



梅雨の晴れ間に  
花壇でハイ、ポーズ！



作業室での作業も再開！  
貼り絵や木工作業などを頑張っています！



誕生日会もみんなで一緒に  
お祝いしました！



支援員 鶴戸 愛

「舟木一夫のコンサートが熊本であるよ。」とKさんが教えて下さいました。テレビでコンサートのCMを目にされたようで、行きたいのかな? と思い、一緒に施設長に相談に行きました。施設長より「行きたいですか?」と尋ねられると、いつもは「どうしようかな?」と迷われる事が多いのですが、その時は力強く「行きたいです!」と話され、行く事が決まりました。それから、コンサート用の外出着も一緒に選び準備を整えました。

6月28日のコンサート当日。会場の熊本市民会館に着すると、始まる前は少しソワソワしていましたが、舟木さんがステージに出て来られると、前のめりになって目を輝かせながら楽しまれていました。3時間のコンサートもあつという間に終わり、どうでしたかと感想を尋ねると「よかったよ。かつこよかったね。」と笑顔で話されました。グッズコーナーでもポスター等自分で選ばれ、今は大事そうに部屋に飾っておられます。

今回初めて、担当させて頂いている利用者さんとコンサートに行きましたが、自分の希望が叶い、楽しまれていた様子を見る事が出来て嬉しく感じました。コロナ禍で思うように生活出来ない中、少しでも生活が豊かな毎日になるように支援していければと思います。



支援員 入船 友輔

Wさんは支援学校を卒業後は南海寮に就職。グループホームに入居し通いながら働いています。現在約1年が経過し今後の展望や支援についてインタビューで紹介します。

● どうしてここの南海寮で働こうと思いましたが?

・実習で来た際、農作業に興味があり、自分でも花などを育ててみたいと思いました。また、職員の方々も丁寧に教えてくださいましたからです。

● 令和3年4月から就職され約1年が経過しましたが、実際に働いてみた感想を教えてください。

・初めての頃は生活態度などで指摘を受ける事がありましたが、担当や支援員に相談をし、今は社会のルールなども学ぶことが出来ました。

● 社会人として働いてみて生活に変化はありましたか?

・グループホームに入り、集団の中で生活し、一般的なマナーなど学んでいます。仕事が終わってからは、本を読んだり、ゲームや音楽を聴く等時間を決めることで生活リズムが身に付く様になりました。

● 夢や将来やってみたい事、チャレンジしたい事はありますか?

・将来的には一人暮らしをしてみたいです。社会人としてのマナーを身に付けて、自分一人でも生活が送れるようにしたいです。

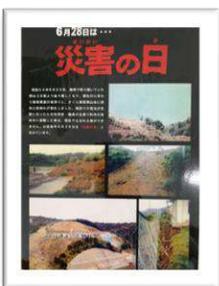


## 《災害の日》

6月28日は南海寮の「災害の日」です。昭和54年6月28日、梅雨で降り続いていた雨は益々激しくなり寮近くの斜面が崩れ、生活に危険が生じ利用者・職員の全員で町内の東向寺さんに避難することがありました。以来、当時のことを忘れないよう毎年6月28日は風水害訓練を行っています。

これから梅雨に限らず、台風や地震等大規模な自然災害も想定されます。今後、南海寮でも大規模な自然災害に向け防災委員会を中心に備蓄管理や大規模災害を想定した避難訓練等計画しています。普段から防災意識を持つことで利用者さんの安全や安心を考え取り組んでいけたらと考えています。

(防災委員会)



# あいむだより

コロナ禍において、皆さんが楽しみにされている恒例の行事を実施する事が出来ず、それに代わるイベント等をあいむ独自で実施してきましたが、感染予防を行いながら少しでも外出気分を楽しんでもらえないかと話し合い、今回7/4(月)に「食育の日」と題して三角町の宮田農園(食と農の体験塾)まで出掛けてきました。

到着後、まずは手洗いからスタート。その後手袋を付けてクッキー作りが始まりました。なんと材料は卵と魔法の粉のみ。丸や棒状の型を作る方もいれば、好きな芸能人のイニシャル「J」を作って喜ばれている方もおり、焼き上がりは何倍も膨らみサクッと美味しいクッキーの完成です。

続いて待ちに待ったピザ作り。まんまる～い生地が鉄板の上に乗って運ばれてきました。生地を伸ばしフォークで生地に穴を開けてソースを塗ります。トマトソース・照り焼きソースと2種類あり、皆さん迷わず「どっちも！」と両方選び、半々で味を変えていました。さすがです(笑)そして具材を並べ、いよいよ窯へ…窯の中に入るまでじーっと見つめている方もおり、焼きあがるのが待ち遠しそでした。ピザが焼けるまでの時間に釜で炊いたご飯のおにぎりは、米が立って塩加減も抜群!サービスの野菜スープも身体に染み渡る～そしてこんがり焼き上がったピザは最高に美味しかったです。

食後は、宮田さんから感染症や病気に負けない健康な身体づくりのために自分でできる事「食生活」の大切さについてお話がありました。その中で、万病の予防食として野菜スープが紹介され、野菜を20分煮てスープにする事で細胞が破壊され有効成分の8割がスープに溶け出し活性酸素を消去する為、がん予防はもちろん、鼻炎や関節リウマチ・胃炎などの慢性炎症の予防にもお勧めである事や、味噌汁や漬物等発酵食品を多く摂る事で、腸内環境を整え免疫力が向上し感染症の予防にも繋がる事など、クッキーやピザ作りを楽しみながら食の大切さを学ぶことが出来た有意義な食育の日となりました。



## 社会福祉法人啓友会 財務諸表等の電子情報開示について

最新の財務諸表等については、以下のホームページでご覧いただけます。

▶ 自法人HP…<http://nankairyu.or.jp/disclosure/>

▶ WAM-NET…<https://www.wam.go.jp/wamnet/zaihyoukaiji/pub/PUB020000E00.do>



# なんかい

南海寮広報委員会

- ご高覧いただき、ご意見・ご感想などありましたら [keiyukai@cup.ocn.ne.jp](mailto:keiyukai@cup.ocn.ne.jp) までお寄せください。
- 広報誌「なんかい」はホームページ <http://www.nankairyu.or.jp/> からご覧いただけます。